



新ひ企画第 61号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

新ひだか町長 酒井 芳秀



中期的な計画の策定にあたっての意見について
平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった標記について、別紙のとおり意見を提出します。

(総務企画部企画課企画G)

中期的な計画の作成にあたっての意見

団体名 新ひだか町

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

(1) 高規格幹線道路「日高自動車道」の整備促進について

日高地方は海と山に狭められた特有の地形であり、また、日本有数の地震多発地帯であることから、崩落等により唯一の幹線道路である国道235号が寸断される現状にある。

このような状況の中で、住民の安全性の確保は急務の課題であり、高規格幹線道路「日高自動車道」は、災害発生時における代替道路として、また、救急患者の迅速な搬送体制の確立をはじめ、主要都市へのアクセス強化と物流の効率化など、日高地方の振興と発展には不可欠な道路である。

【高規格幹線道路「日高自動車道」の整備による効果】

- 災害時の代替道路の確保
- 救急患者の搬送時間の短縮
- 物流の効率化と地域資源を生かした観光施策の推進
- 日高自動車道を核とした道路網の整備促進

(2) 幹線道路における歩道整備等交通事故対策の推進

日高地方は海岸線を走る国道235号が唯一の幹線道路であり、新ひだか町は日高管内の中核都市として近隣住民の流入も多く交通量も多くなっている。

このため、児童生徒の通学時をはじめ歩行者等の安全性の確保のため幹線道路における歩道の整備等が地域住民から強く求められている。

【必要な歩道整備等交通安全対策】

- 静内橋歩道拡幅
- 陸上自衛隊静内駐屯地～東静内市街地における歩道整備
- 新ひだか町～新冠町における歩道整備

(3) 静内町と三石町の合併による幹線道路の整備

新ひだか町は、平成18年3月に旧静内町と旧三石町の合併により新たに誕生した。

地域の均衡ある発展のためには社会基盤整備が必要であり、特に幹線道路の整備と適切な維持管理は重要である。また、地域においても静内市街地の拡幅を求める「国道整備促進協議会」が民間によって組織されるなど、

整備促進を求める声が強くなっている。

2. 効率化を徹底的に進める上で必要な事項

事業の完了年次を明確にした事業管理を進めるとともに、関係機関等との連携・協働を促進しコスト削減に向けた取組が重要である。

3. その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関すること

広大な北海道において、住民の移動手段は車に依存しており、幹線道路整備と適切な維持管理は住民の安全性の向上と地域の進行発展には不可欠であることから、事業推進のための財源の安定的な確保に努めることが重要である。

また、地域の実情に即した効果的・効率的な道路整備の促進のためには、地域のニーズを的確に把握することが必要であり、整備にあたっては地域住民との対話に努めることが重要である。